

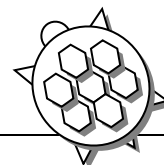
亀さん通信

まだまだ暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか！

亀のように歩みは遅くとも、『お金力』をしっかり・確実に身に付けていただく【亀さん通信】第131号発信です！

何も持たずに過酷な荒野を突き進む…

誰にでも**非常に高確率で訪れる老後**。計画的にその準備をしている人もいれば、中にはまったく手つかずの人も…。周りに比べて、自分はどの程度の水準なのか。気になるころではあります。お隣さんに聞くわけにもいきません。しかし、各種の調査結果を見れば、**自分の立ち位置**はおおよそ推測できます。今回は、お隣の懐事情をこっそりとのぞいてみましょう！



【フィデリティ退職・投資研究所 「サラリーマン1万人アンケート」】

調査年	項目	全体平均	男性				女性			
			20代	30代	40代	50代	20代	30代	40代	50代
2010	年収平均(万円)	493.0	365.4	476.6	640.8	712.4	261.0	316.9	349.7	412.0
	必要額(万円)	2989.4	2897.4	3066.9	3195.9	3047.2	2644.6	2945.3	2862.4	2849.7
	準備額(万円)	515.6	325.9	329.3	555.6	892.2	227.6	326.6	512.4	901.2
	準備率	17.2%	11.2%	10.7%	17.4%	29.3%	8.6%	11.1%	17.9%	31.6%
	準備額0円	44.3%	57.5%	51.3%	40.3%	27.7%	59.2%	54.1%	41.1%	26.1%
	同1000万円以上	13.3%	7.6%	8.1%	15.2%	23.8%	4.6%	7.3%	12.6%	24.4%
2015	年収平均(万円)	481.8	378.3	488.3	588.2	702.1	287.2	341.1	329.0	377.3
	必要額(万円)	3078.0	2797.1	2967.0	3339.2	3395.1	2526.0	2995.7	3123.0	3152.6
	準備額(万円)	748.5	465.0	613.9	819.4	1125.3	330.7	544.9	716.7	1158.9
	準備率	24.3%	16.6%	20.7%	24.5%	33.1%	13.1%	18.2%	22.9%	36.8%
	準備額0円	40.8%	51.0%	44.3%	41.2%	30.2%	52.8%	44.0%	40.2%	25.9%
	同1000万円以上	20.1%	12.1%	16.6%	21.1%	30.4%	8.2%	15.2%	20.0%	33.4%

■必要額：退職後に必要だと想定する公的年金以外の資金総額の平均 ■準備額：退職後の生活に向けて準備している金額の平均
■準備率：準備額÷必要額 ■準備額0円：0円と回答した人の比率 ■同1000万円以上：1000万円以上と回答した人の比率

退職準備額は、2010年の515.6万円から748.5万円へと45.2%増加。この点からも**アベノミクス相場の影響**が見てとれます。しかし、一見順調に思える退職準備ですが、懸念材料も幾つかあります。準備額0円と回答している人の比率は、確かに44.3%から40.8%に低下しています。しかし、それ以上に準備額1000万円以上に達している人の比率が、13.3%から20.1%へ大きく伸びています。つまり、**格差が広がっている**のです。特に深刻なのが40代、50代。50代男性では、0円層の比率が27.7%から30.2%に、片や1000万円以上層は23.8%から30.4%へ上昇。最も格差が広がっている年代といえます。

4割のサラリーマンが退職後の準備資金を0円と回答していることは**実に衝撃的な結果**です。このままいけば、**老後を迎えて路頭に迷うかもしれない予備軍**がかなりの比率を占めていることになります。中でも心配なのが、50代の人たち。老後のための資産形成にそれほど時間が残されていない50代の約3割が、**公的年金だけで老後に突き進もうとしている**のはとても心配です…。

いかがでしたか。お隣の懐事情は。大切なのは数字に一喜一憂することではなく、**現実を知る**ことです。もし自分が置かれた実状に危機感を覚えたならば…。**そこからすべてが始まるのです！**

8月の終わりにもの寂しくなるのは私だけでしょうか…

(株)亀山保険事務所 亀山裕弘(ミルロ) 1級ファイナンシャル・プランニング 技能士 0575-28-2768 info@kameyama-hoken.com